

総合工学委員会・機械工学委員会合同
工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会（第25期・第12回）
議事要旨

1. 日 時 令和5年3月30日（木）15:00～17:00
2. 会 場 ハイブリッド開催
オンサイト 東京大学 環境安全研究センター 会議室
オンライン 東京大学 環境安全研究センター 会議室 主催
3. 出席委員（敬称略、*参考人、下線は現地出席者）
大倉 典子、丹下 健、中川 聡子、宮崎 恵子、遠藤 薫、小野 恭子、
蒲池 みゆき、片田 範子、鎌田 実、桑野 園子、合田 幸広、柴山 悦哉、
庄司 裕子、須田 義大、辻 佳子、永井 正夫、野口 和彦、萩原 一郎*、
平尾 雅彦、松岡 猛、松尾 亜紀子、宮崎 久美子、水野 毅、向殿 政男、
矢川 元基、矢野 育子、新井 充
4. 配布資料
資料1-1 第25期・第10回議事録
資料1-2 第25期・第10回議事メモ
資料2-1 見解「カーボンニュートラル施策のリスク検討フレームの構築」案
資料2-2 見解「工学システムに対する「安心感」と社会の在り方」案
資料2-3 見解「初等・中等教育におけるリスク教育の推進」案
資料2-4 報告（記録）「工学システムに関するリスクアセスメント改善の要点」
資料3-1 安全工学シンポジウム2023企画案
資料3-2 安全工学シンポジウムOS企画案
資料4-1 工学システムに対する安心感等検討小委員会報告
資料4-2 安全におけるリスクアプローチ適用検討小委員会報告
資料4-3 老朽及び遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理に関する検討小委員会報告
5. 議題
 - (1) 前回議事要旨確認
第10回の議事録・議事メモを確認した。
第11回のメール審議に対する議事録は委員長一任とすることになった。
 - (2) 第25期意思の表出について
 - ・辻委員から、意思の表出を行う際の提出期限について説明があった。
 - ・野口委員から、資料2-1に基づき、「カーボンニュートラル施策のリスク検討フレームの構築」案についての説明があり、議論した。
今期、見解案として提出することとなった。
 - ・大倉委員から、見解「工学システムに対する「安心感」と社会の在り方」案を提出したことが報告された。
 - ・辻委員から、資料2-3に基づき、「初等・中等教育におけるリスク教育の推進」案についての説明があり、議論した。今期、見解案として提出するにあたり、最終原稿については、辻委員および須田委員長に一任することとなった。

- ・野口委員から、資料 2-4 に基づき、「工学システムに関するリスクアセスメント改善の要点」について説明があり、議論した。今期、記録案として提出することになった。

(3) 安全工学シンポジウム 2023 について

辻委員から、安全工学シンポジウム 2023 企画案および会場下見結果について、説明があった。企画案は承認された。

(4) 各小委員会報告

- ・大倉委員から、資料 4-1 に基づき、工学システムに対する安心感等検討小委員会の活動報告がされた。企画している安全工学シンポジウム OS 内容、および見解案の査読進捗の説明があった。
- ・野口委員から、資料 4-2 に基づき、安全におけるリスクアプローチ適用検討小委員会の活動報告がされた。企画している安全工学シンポジウム OS 内容、および見解案の査読進捗の説明があった。
- ・新井委員から、資料 4-3 に基づき、老朽及び遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理に関する検討小委員会の活動報告がされた。今期提出を検討している「記録」案に至る経緯も説明があった。

(5) その他

第 26 期の活動について引き続き検討することとなった。

また、学術会議内にとどまらず、学協会との連携も考えたい。

以上